

適性検査Ⅰ 出題のねらい（平成27年2月3日実施）

問1 神奈川県のだムを題材に、図、表、会話文から、だムの特色ある運用を読み取ることを通して、主に社会生活実践力や表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) ある日のだムの貯水状況から、神奈川県で使用される水の何日分が宮ヶ瀬だみに確保されているかを求める。
- (2) 道志導水路と津久井導水路が造られた目的を、会話文から読み取り、指定の字数で表現する。

問2 りんごの収穫体験を題材に、立体の見方や面積の比較について考えることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) りんごの形状とむき方から、むいた皮をテーブルの上に置いた状態として適切なものを選択肢から答える。
- (2) 床に置かれた立体の形から、指定された面の面積の合計が最も大きくなるように置いた人と最も小さくなるように置いた人の名前とその面積の合計の差を答える。

問3 バイオリンやベートーベンの楽曲を題材に、弦の長さと言の高さとの関係や、作曲年を考えることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 1本の弦を張った実験装置で、言の高さを変える実験をして、指定された高さの言が出るときの弦の長さを求める。
- (2) 資料と会話文から、必要な情報を読み取り、バイオリンソナタ第5番が作曲された年を西暦で答える。

問4 学級新聞づくりを題材に、作業のスケジュールを読み取ったり、仕事量を考えたりすることを通して、主に社会生活実践力や科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料から、学級新聞づくりに関する作業のスケジュールを読み取り、新聞の印刷を始める月日を答える。
- (2) 最初の3日間の仕事量から、残り2日間で配達を終えるために、配達を行う人を何人増やせばよいかを求める。

適性検査Ⅱ 出題のねらい（平成27年2月3日実施）

問1 読書について書かれた文章を読み取り、資料の内容やグラフをふまえて設問に即した文章をまとめることを通して、主に社会生活実践力や表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 資料を読み、文脈に合う語句を選択肢から答える。
- (2) 資料とグラフから、文中の語句の意味を説明し、心の筋力をつけるための読書の取り組みについての自分の考えを文章で表現する。

問2 大山を題材に、参道の石段のおどり場にあるタイルの配列を考えたり、神奈川県的主要な山の高さを比較する棒グラフの作成を考えることを通して、主に科学・論理的思考力や社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) こま参道にあるこまの絵がかかれたタイルの組み合わせから、その規則性を見つけ、こま参道にあるタイルの総数を求める。
- (2) 棒グラフを作成するのに必要な紙テープの長さの合計を求める。

問3 朝食についての会話文の内容を適切に読み取ることを通して、主に科学・論理的思考力や表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文から、朝食の摂取状況が生活や学習に与える影響について読み取り、内容が当てはまらないものを選択肢から答える。
- (2) 会話文を読み、アンケートの回答の割合を百分率で求め、帯グラフに表現する。

問4 電車を題材に、電光掲示板の仕組みや、電車の運行を考えることを通して、主に科学・論理的思考力や社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 資料から、特定の図形が流れて見えるように表示されている電光掲示板において、一定の時間が経過した後に点灯している発光ダイオードの番号を答える。
- (2) 資料から、駅の時刻表における電車の種別と発車時刻を答える。

グループ活動による検査 出題のねらい（平成27年2月3日実施）

与えられた課題について、自分の意見をまとめた後、グループでの話し合いや作業を行い、集団の中での人間関係構築力の基礎的な力と中等教育学校で学ぼうとする意欲や目的意識をみることをねらいとした。

課題1 県立中等教育学校の体育祭で、「学年をこえて自分たちの色を応援し合う」という全校生徒の取り組みの場面を設定する。この取り組みについて、赤組の1年生として、学級全員で協力して旗づくりをするために「どのような手順や方法で作業を進めるのがよいか」と、「旗の具体的なデザインの案」について自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合って1つの案をつくる。

課題2 県立中等教育学校の体育祭で、「学年をこえて自分たちの色の団結を高める」という全校生徒の取り組みの場面を設定する。この取り組みについて、赤組の1年生として、学級全員で協力して旗づくりをするために「どのような手順や方法で作業を進めるのがよいか」と、「旗の具体的なデザインの案」について自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合って1つの案をつくる。

〈参考〉

受検者を男女別に8人程度のグループに分け、相模原中等教育学校、平塚中等教育学校ともに3回の検査を実施した。

検 査	検査時間	検査課題
第1回検査	12:40～13:20	課題1
第2回検査	13:55～14:35	課題1
第3回検査	15:05～15:45	課題2

